

バスケの街づくりに関する実態調査結果

【基礎資料3】

No.	団体名	1. 現在の取組と連携について	2. 視点	3. 取組の評価について	4. 今後考えられる取組と連携について	5. その他、意見・提言等
1	能代市山本郡ミニバスケットボール連盟	ミニバスケットボール大会の開催（年3回） ①夏季ミニバス大会（7月開催）東北電力主催県大会の予選 ②秋季ミニバス大会（10月開催）県・東北・全国につながる予選 ③アリナス杯ミニバス交流大会（2月開催）アリナス主催の5年生以下の大会	①競技力向上	①競技力向上とはいっても当団体として積極的に行っている状況にはない。各スポ少単位団の取組によるところが大きい。 ②地域活力、③市民文化については具体的な取組がない。	バスケの街をアピールするために当団体でできそうなことは、幼・保や小学校低学年の競技力向上にお手伝いすることです。 ただ、このことについては市役所（企画部、スポーツ振興課等）で企画していくべきものと考えます。また、職務経験者（バスケ）で採用された方をもっとこの企画に生かしていくべきです。また、人事面でも重点的に採用すべきです。	幼稚園、保育園、小学校1～3年生からバスケットに親しませる企画が先決だと思います。新潟県ですすでにこの取組がなされており（塾と同じ有料）、視察も必要かと思います。
2	ニツ井町バスケットボール連盟	○取組 各種大会、行事等の開催 ・きみまちカップミニバス大会（男子6チーム・女子6チーム、2日間に渡り開催） ・中学校交流大会（男子3チーム・女子3チーム） ・バスケットボール交流大会（ミニ男女各3チーム、中学男女各3チーム、一般男女各2チーム） ・ミニバス教室（低学年女子、通年で活動） ・WJBL大会 ○他団体との連携 ・特になし	①競技力向上	・競技力向上・底辺の拡大に主眼を置き事業を行っている。ミニバスでは、女子チームが全県大会出場の常連校としてその地位を確立しつつあり、一定の効果は出ていると感じる。 ・地域活力・ ・市民文化・地元の小学校、中学校のチームの活躍が在校生、卒業生一同が誇りに思い、さらには地域に大きな活力を与えているものと思っている。	・競技力向上・引き続き、ミニバスを中心とした指導者派遣。さらには、中学校の指導者（教諭）と連携した競技力向上への取組（技術指導など）。 ・地域活力・ ・市民文化・	▽まずは、能代工業だのみを脱却し、地元小・中学生の組織力及び競技力を強化すべき。 ▽最優先の取組は、底辺の拡大による競技人口の増加を図るべき。 ①スポ少指導者を育成し、各小学校に男女のバスケットボールチームを組織する。 →旧能代市におけるチーム設置率（年間活動として）の向上が必要と思われる ②競技人口の増加→バスケに関わる市民の増加→バスケに対する意識向上へと繋がっていく。 ③指導者育成→底辺拡大→レベル向上→能代のバスケに対する知名度UP（工業だけではない）→競技人口増加→能代工業の活躍（地元出身選手が過半を占める）→バスケの街づくり（常勝能代の小・中学校→地元選手による常勝能代工業）→本当のバスケの街能代の実現。 ▽そのためには、能代の小・中学校が常に全県のトップレベルで居られる体制の構築が必要である。
3	能代工業高等学校生徒会	地元の小・中学生を対象に、技術力向上を目的にバスケットクリニックを実地している。本校のバスケット部監督、選手が中心になって小・中学生に基本的な技術指導とミニゲームを行う。	①競技力向上	「バスケの街」の中心的な団体として、競技力向上において選手の心・技・体すべてにおいての向上に、さらに力を入れる必要があると感じている。	現在、生徒会を中心に来年度の北東北総体に向けて、「バスケット」を全国にアピールするための「バスケットボールクッキー」の製作に取り組んでいる。材料の配合や形状については何度も試作を重ねるほど決定した。今後、地元の洋菓子店と連携して商品化できればと考えている。	

No.	団体名	1. 現在の取組と連携について	2. 視点	3. 取組の評価について	4. 今後考えられる取組と連携について	5. その他、意見・提言等
4	能代市中学校体育連盟	能代市中体連では市春季大会、全県予選大会、市秋季大会（新人）の3つを実施しています。（バスケットボールの他、10種目） 上位大会もあるので、県中体連等との連携はあります。バスケットボールのみに限った取り組みは、市中体連としては行っていません。	①競技力向上	11種目全体に関わることになるので、バスケットボールに限った評価については、正直難しいです。 学校単位になりますが、中学校の役割としては、「競技力向上」には大きな関わりがあると思います。上級学校（高校）で活躍できる選手の育成もその一つと考えます。（学業とのバランスを取りながらですが）バスケの街能代でも、今年のみ市秋季大会では競技人口減少のためか、合同チームで参加の学校もありました。そういった中で部活動としての競技力向上には大きく貢献していると思います。	先ほど記述したとおり、市中体連としては11種目を統括することが役割なので、バスケットのみの取り組みにはかなり厳しいものがありますが、各中学校のバスケットボール専門部の先生方主導での取り組みなら可能であると考えます。（あくまでも専門部のサポートとしての取り組みであれば連携して取り組めるとは思いますか…?）	
5	能代市旅館ホテル組合	能代カップの開催の際に、空室状況の提供を行っている。（組合単位で）	①競技力向上	能代工業とバスケット協会は頑張っていると思うが、街全体で考えるとそうでもないと思う。	当組合は規模が小さいので、直接的な関わりは難しいと思います。 他の団体との連携は、要請があれば検討したいと思います。	
6	関東能代会	①当会では「能代」ということで、秋田プロバスケ（株）との関わりで、東京での会員増強などでPRしている。 ②能工バスケについては、東京での大会等で応援するよう働きかけている。今回も会場へ行くよう指示している。 ③当会の会報誌などに記事を掲載するようにしている。	①競技力向上	①能工バスケ、昨今勝てないので少しトーンダウン。常に勝たねばならない。 ②他県小・中・高校生を通じ、バスケ交流がほとんどなく、全国レベルの能代工業を手本に交流を盛んにすべき。 ③能代でのバスケは市民から圧倒的な評価を受けている。	能代を活性化させる考えから、例えば東京の学校とのバスケを通じて交流を行うような行政を企画し、その生徒達の保護者へも能代へ来てもらい、白神山地へ旅など観光も行い、少しでも能代にお金を落とすことをすべきと考えます。（東京でそれらの活動を指示されたら、やってみても良いが…）	能代のバスケは全国区、能代にない大きなBRAND。 全国のバスケファンを取り込む施策、企画が必要。 思い切って学校側（能工高）と具体的な議論を行い、能代にファンを取り込む（呼び込む）施策を内外に発信し、受入体制を独自に確立すべきと思う。 （例）…私のいる大田区の場合、4.との関連 大田区の中学校のあるバスケ部→能工との交流→能代の体験交流→観光→大田区との交流
7	能代工業高等学校 東京地区支部同窓会 東籟会	高校バスケの3大会（高校総体、国体、選抜大会（WC））が東京近郊で開催の場合は応援に出かけている。また、他校からのバスケットファンや近親者あるいは友人達の応援もある。また、学校（地域）を離れ、秋田県の関係校が「首都圏ふるさと応援団」を結成し、垣根を越えた応援をしている（資料同封）。 当同窓会はもちろん秋高連は、bjリーグ、ノーザンハピネッツ関係者を招き、バスケット普及・PRに努めている。	①競技力向上	多感な青春時代を過ごした母校への思いと、ふるさと能代の街へ何が支援できるか、私どもの課題です。 友人・知人に会うと、能代の商店街はシャッター通りになっていると聞かされますが、能代の活性化（市民の明るい話題）提供について、①競技力向上②地域活力③市民文化、とも重要であるが、業務上全国を歩き廻る関係上、「バスケの街能代」はよく耳にしますが、最近の試合結果が残念であり、強化といい選手の発掘が必要です。	能代工業高校のバスケ試合の単独応援はもちろん、東京地区能代五高会、「首都圏ふるさと応援団」との連合応援や、能代カップへの応援帰省、ノーザンハピネッツへの東京圏開催試合の応援。 同窓会でのTシャツ、バスケキャップ、バスケットブー人形等の製作配布等で応援を要請している。（昨年は、バスケット部員にバスケットブー人形をプレゼントし激励した。）	実態調査冒頭に記載してある「バスケの街づくりのあり方を見直しして…」とありますが、どのような観点（あり方）から運営していたのか、その原点が記載されていない中で（見直しするというその経過が判明されずに）、どうしてアンケート実施するのか、判断が付きません。まず現状を具体的に述べるべきではないでしょうか。

No.	団体名	1. 現在の取組と連携について	2. 視点	3. 取組の評価について	4. 今後考えられる取組と連携について	5. その他、意見・提言等
8	能代市バスケットボール協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年3回、一般を対象に大会を開催（主に郡・市のチーム）</li> <li>・年1回ではあるが、ミニバスと中学生の大会（郡・市チーム）</li> <li>・ビッグイベントの能代カップ高校選抜バスケットボール大会の開催</li> </ul>	②地域活力	基本的には、能工にハイレベルでいてほしい。その事によって、各地からの来能者が増えることになり、街全体の活性化につながると考えております。	能代カップ大会の継続が一番であると思っております。 他の団体との連携は今のところ考えてはいないと言っております。	当協会のまとまった意見・考えではありませんので悪しからず。（前段まで） 能代カップの運営も年々厳しいものになってきてます。企業の不況もあり、協賛金が思うように集まっておりません。協会の内の会社経営者の力によるところが大きい。能代カップに関してのご意見も聞きたいところです。よりよい「バスケの街づくり」のためにも！
9	能代観光協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・能代カップへの出店（食彩人の会）（物産振興会）</li> <li>・bjリーグへの出店（ 〃 ）</li> <li>・宿泊のあっせん、施設でのPR</li> </ul>	②地域活力	イベント等での市の一体感が感じられない。 事前の盛り上げ方に工夫が必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントのPR活動による集客（連携）</li> <li>・「バスケの街づくり」の情報発信（HP等による）</li> </ul>	
10	ニツ井町観光協会	私共の団体としては具体的に取り組んでいる事は現在ありません。	②地域活力	左記（1.2.）の項目から見ると評価に値しません。	<p>（5. その他、意見・提言等）</p> <p>今日の能代工業バスケット部を、これ程までに有名？強化した加藤監督の功績は誰も認めるところであり、敬意を表するものである。そしてその後を継いで頑張っておられる監督、選手（生徒）の皆さんにも労をねぎらうと同時に、今後の活躍を期待しておる所でもあります。今日に至って、今までの体制と言いますか？見直さなければならぬ時期に来ているのも理解出来る様な気がしてならないのである。バスケットについては何もわからない一市民がなんだかんだ言うのは大変おこがましいのですが、少しだけ感じていることがありますので、述べさせて頂きますことをお許し下さい。</p> <p>外野席から見ますと、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1つには、市民全体での盛り上がりを感じられないのではないかと思います。なぜなのでしょう。いやそんな事は無いと言う方々もいるかも知れませんが、要因として、</li> <li>イ）強くなったが故に、県外からの選手が多くなっていきすぎないか。逆に言うとうと、地域の選手の育成（強化対策）が遅れているのでは。</li> <li>ロ）従って、地域の選手不足で地域の盛り上がり不足につながっているのでは。野球選手の場合は勿論底辺への広がりも大きい訳ですが、地元選手が多くて全体的に盛り上がりやすそうですね。</li> </ul>	<p>※左記の続き</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2つ目には、選手と市民とのふれあいが無いのではと思うがどうでしょう。</li> <li>イ）1つ目の項目とも関係ありますが、県外選手が多くて、市民が気軽に接する事が出来ないのでは。勿論、いつでも市民が練習を見学出来ると言うものでもないと思うが、地元の選手を育成強化する事によって、市民との接点がより近いものとなると思うのですが。</li> <li>ロ）1年の内に3～4回でもふれあい交流があるとより身近になると思う。</li> <li>・3つ目には、バスケと言う素材を商品化出来ないのか。今までもやっつけられているんだと思いますが、商品として売り出し方をもっと真剣に考えて見れば。</li> <li>イ）ここまで強化されて全国的に有名になった「能代工業のバスケット」を、まず県内中学生へのステップアップに結び付けて行く事は出来ないのでしょうか。</li> <li>ロ）地域の選手を地域で育てて全国へ発信出来ないかな、と思いますが、その事によって地元のスポーツとしての自信が市民に浸透して行くと思う。以上でございますが「夢物語かな」。でも誰かがやって頂きたいな！！</li> </ul>

No.	団体名	1. 現在の取組と連携について	2. 視点	3. 取組の評価について	4. 今後考えられる取組と連携について	5. その他、意見・提言等
11	能代物産振興会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・能代物産振興会としては特にバスケットに関する取組はしていません。</li> <li>・かなり前に（10年ぐらい？）能代カップの開催期間中にバスケットのシール等商品に貼って歓迎したことがあります。また、会員の中には、やはり能代カップ期間中、物産の販売を行っています。</li> <li>・他団体との連携はありません。</li> </ul>	②地域活力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当会はバスケットに関する取組をしていないので、評価できません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当会の物産振興を考えると、選手への商品の提供等。</li> <li>・連携の内容によって出来る場合もあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスケットに関しては当会も具体的にどのようにかわりを持ったらいいのかわかりません。逆に当会に市側から要望があれば検討していきたいと思えます。</li> <li>・4.の回答に「商品提供」とありますが、無償有償も含めての考えです。</li> </ul>
12	能代商工会議所	商工会議所では、地域振興を目的に中期行動ビジョンを策定し、その取組の一環として、能代カップと地域観光をテーマに昨年は観客100人にアンケートを実施。（結果別添）	②地域活力	<ul style="list-style-type: none"> <li>①最近全国規模の大会において、工業高校の成績が芳しくなく危惧をしている。このような状態が続くようであれば、能代カップの威信の低下を招くのではないかと。</li> <li>②能代カップの観客を産業観光等に結びつけ、宿泊滞在を増加させる。</li> <li>③畠町、柳町の商店街のシャッターにバスケットをテーマにしたアートを23年も実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在実施中のシャッターアートは今後も補助事業を活用し継続する。</li> <li>・商店街組合の協力を得て取り組み、「バスケットの街」のPR強化に努める。</li> <li>・シャッターアートをイベントに活用し商店街の賑わいを取り戻す。</li> <li>・小・中学生のバスケット人口を増加させるには、子供たちにバスケットでの楽しみを与えることが底辺の拡大推進に繋がることから、そのための手法を検討する。</li> <li>・当地を訪問する観客と市民との交流広場を開設し、特産品、PR、グッズ販売、能代のバスケット情報、資料コーナーを併設する。1か所でのバスケットの情報や土産品全てが揃っていることは観客にとってメリットとなる。</li> <li>・毎年ゴールデンウィークに開催される能代カップは、人気があり観光客も多い。その観光客に対し、能代カップの観戦だけでなく、ファンへ産業観光アピールを行い、交流会や郷土芸能の実演などで滞在型観光へ繋げ、地域の活性化を図る。</li> </ul>	
13	能代商工会議所青年部	団体としての取組は特にない。会員が、「バスケットサポーターズのしろ」「秋田SVハピネッツ」に参加しており、ボランティア等を行っている。	②地域活力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技力向上には、直接かかわることは難しいと思う。</li> <li>・地域活力の視点では、企業人の集まりであるので、当然考えるべき事で、発展の為に関わっていかねばならない問題だと思っている。</li> <li>・市民文化の視点としては、当会で実施するイベントで、バスケットコーナーを設ける等、バスケットに関わる機会を作りたい。</li> </ul>	先日行われたbjリーグの能代大会の様なイベントの際に、能代のPRが出来ればと思っている。（食の提供、土産の販売等）他団体との連携は、当然していかねばならない。市や親会（商工会議所）と協力し、当会で協力出来る事、他会に協力してもらいたい事を話し合い、盛り上げていきたい。	私は今、bjリーグに深く関わっています。昨年の試合でもわかる通り、大変な盛り上がりでした。冬のイベントの少ない中、是非回数を増やしたいと考えています。それには、市の協力が不可欠です。よろしくお願ひします。

No.	団体名	1. 現在の取組と連携について	2. 視点	3. 取組の評価について	4. 今後考えられる取組と連携について	5. その他、意見・提言等
14	ニツ井町商工会	「バスケの街づくり」計画策定のための準備会委員として、副会長が参画している。 会議内容については、商工会の会議等の中で報告を受ける体制になっている。	②地域 活力	具体的なアクションは起こしていない。		
15	能代市商店会連合	会員がバスケサポーターズのしろに入会して協力している。 秋田NHの12/4、5には、スタンプラリーへ協力している。	②地域 活力		秋田NH、能代カップ等でおもてなし的な協力。	
16	能代市柳町商店街振興組合	他団体との連携はありませんが、柳町商店街として能代工業が全国優勝した時は「おめでとう全国制覇」の独自の統一ポスターを商店街のお店に貼り出します。また、能代カップの時には商店街全体の清掃と「歓迎能代カップ」の柳町独自の統一ポスターを加盟店で貼り出します。また、能代カップの横断幕をアーケード間に張らせております。柳町振興組合ではありませんが、ポイントカード事業（協）（ダンクカード）では、能代カップ参加選手へ杉で作ったコースターやキーホルダーなどを参加記念として差し上げております。	②地域 活力	評価できません。	商店街としては企画力も資金力もあまりありません。 他団体などから企画が出て来て、それに商店街としてどう関わっていくのか、どのような協力が出るのか、だと思います。	
17	能代市駅前商店街振興組合	現在そのような取組は行っておりません。	②地域 活力	取組は行っておりませんので評価できません。	特に自ら進んで取り組む予定はありませんが、協力を求められた場合には、協力したいと思います。	全く個人的な意見ですが、私は能代が「バスケの街」だとは思っておりません。確かに能代工業は有名ではありますが、それだけで「バスケの街」と言えるのでしょうか？ 小学校も中学校もさかんで、大人もやっている。そのようになって「バスケの街」と言えると思うのですが…。
18	能代西大通り商店会	当会会員がバスケサポーターズのしろに入会し協力している。 秋田NHの12/4、5にスタンプラリーへ協力している。	②地域 活力		秋田NH、能代カップ等でおもてなし的な協力。	
19	ニツ井町本町通り商店会	ニツ井町のミニバス大会の協賛等。 スポーツクラブの応援。	②地域 活力		小学校のスポーツクラブや中学の部活に何らかの関わりを持つ。	全国的に見て、能代が一番有名なのは、何といたっても能代工業高校のバスケットに間違いありませんので、どんな形でもこれを生かして街づくりすべきであります。 いろんなアイデアがあればいいですね。

No.	団体名	1. 現在の取組と連携について	2. 視点	3. 取組の評価について	4. 今後考えられる取組と連携について	5. その他、意見・提言等
20	柳町女性会	市民として試合を見たいと思います。楽しいと興味がわくように。	②地域活力			
21	能代木材産業連合会	ありません。	②地域活力	地域活性化が大である。		
22	(株)能代青果地方卸売市場	・取組という程のことではないのですが、毎年5月の能代カップのパンフレットに会社の広告を掲載して協力。 ・能代カップの開催ポスターを会社場内に貼る。	②地域活力	最小限の取組かもしれませんが（来社するお客さんは特定の方々ですので）ポスターを見て能代カップの大会を知る程度です。	県外の取引先に、ロコミで能代のバスケの全国大会出場の様子や、街を上げて取り組んでいることなどを伝える。	バスケット人口の底辺の拡大と強いチームの育成に力を入れてほしいと思います。
23	あきた白神農業協同組合	バスケットに関する取組は、団体、構成員共に行っていません。	②地域活力	バスケットに関する取組は行っていません。	地元開催での補助（客の誘導等）。広報の掲示。	
24	JR能代駅	・駅にバスケットリングを設置し、リゾート列車に乗車されているお客さまに対し、シュート体験を行っていただき、ゴールしたお客さまへは粗品を差し上げている。 ・観光客に対し、「バスケの街」をPRし、交流人口増加を図る事を目的としている。 ・バスケットリングは協会から提供していただいたものである。	②地域活力	・シュート体験を行っていただく事により、バスケットに親しみを持っていただくと共に、「能代工業高校の活躍」「バスケの街のしる」を観光客に対し、周知する事に寄与できていると思う。	・今後継続して取り組んでいく。 ・他団体との連携については、例えばゴールした景品を能代の特産物などで提供していただける所があれば検討したい。	
25	能代市連合婦人会	①バスケットに関する取組は行っていません。 ②会員の中に能代工業高校バスケット部員を受け入れている下宿屋さんがあるので、能代市の取組はアバウトですが情報として入ってくるので、会員は関心は持っている。	②地域活力	①来年は秋田県で高校総体が開催、能代市では、バスケットボール大会という事ですが、要請があればボランティアとしていつでも応ずる（応じたい）。 ②小学校、中学校、高校の指導者に寄りかかっているように見える。	市からの指示に従います。 女性の特性を生かせる事があればなんでもいいし、他団体との連携もできる。	①能代市は「バスケの街」と銘を打っているが、体制はどうなっているのですか。 ②12/5開催された「秋田ノーザンハピネッツ」の試合を観戦いたしました。が、「バスケの街能代」の体制が見えて来なかったように思う。 出店は、横手やきそば、神代カレー、トラックによるラーメン販売など、能代市の特産がなかったように思う。 (理由はあると思うが…)
26	能代市ボランティア連絡協議会	秋田わか杉国体で、各地域で民泊や応援に参加している。	②地域活力	バスケットを通して、普段以上の地域のコミュニケーション、強い繋がりが出来たと思っています。	ボランティア連絡協議会単独では特にありませんが、各団体に対しての協力呼びかけ等の啓発をしたいと思っています。	能代市各地域のコミュニケーションが薄くなりつつある中、プロバスケットが秋田県で発足し、バスケットの良い環境が整備されました。 今後、バスケットを楽しみながら、地域のコミュニケーションが今以上に活発になり、その小さなコミュニケーションの輪が、ボランティア活動となる事を願っています。

No.	団体名	1. 現在の取組と連携について	2. 視点	3. 取組の評価について	4. 今後考えられる取組と連携について	5. その他、意見・提言等
27	NPO法人白神ねっと	NP0白神ねっととしては、能代カップ完全ガイドというホームページを開設。毎年更新しながら、能代カップの情報発信、情報提供を行っています。理事長（キクヒロ）が、独自にNBC（Noshiro Basketball Club）という能代のバスケット関連グッズ販売のネットショップを立ち上げ、販売、運営を行っています。	②地域 活力	能代カップ完全ガイドに関しては、大会の日程、スケジュール、組み合わせ等の情報をできるだけ早く公開し、県内外からの集客につながるようしており、それなりの効果があると考えます。NBCに関しても、バスケットグッズ企画、販売により、企画、製造関連企業に寄与し、バスケットの街の情報発信につながっていると思います。	能代カップ完全ガイドのさらなる充実はもちろん、バスケットの街の情報発信のよりよい方法、内容について検討していきたいと思います。バスケットの街づくり推進会議、バスケットサポーターズのしろの議論からのアイデアを注視していきたいと考えています。	
28	(有)バスケットの街能代企画	主にシャツ類の販売を行っており、能代カップ等の出店で来場者への記念になるものを取り扱っているのが現状です。	③市民 文化	来能者へ高校バスケットの聖地であることへのアピールはできていると思う。	企業としては、現状のままです。	
29	バスケットサポーターズのしろ	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康フリースロー大会の開催</li> <li>400歳バスケットの試行</li> <li>のぼり旗の作製</li> <li>ホームページの開設</li> <li>会員向けニュースの発行</li> </ul>	③市民 文化	これまでになかった新たな形の団体として立ち上げ、1年半が経過した。その間、健康フリースロー大会の開催をはじめ、各取組を徐々に行ってきたことは、底辺拡大や機運醸成など一定の役割を担ってきたものと考えている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康フリースロー大会の開催、400歳バスケットのルール化による底辺拡大</li> <li>のぼり旗、会員グッズ作製等による機運醸成</li> <li>ホームページ及び会員向けニュースによる情報発信</li> </ul>	
30	能代市自治会連合協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>大会開催時、選手宿舎への当該自治会の協力、応援、声かけ</li> <li>他団体からの呼び掛けによるクリーンアップの実施</li> </ul> （能代街なみ創造協議会からの呼びかけにより能代カップ開催に合わせてクリーンアップ実施）	③市民 文化	①バスケットの街として市民の関心は高く、自治会としての取り組みを行う上で賛同を得られやすいと思う。 ②一方で、自治会連合協議会としてバスケットの街づくりにどの程度関わって行けるか？バスケットの街づくり会議などが組織された場合に連合協議会として参加する必要度はどの程度か？	①地元開催時の環境整備への協力、会場周辺の美化、清掃活動 ②大会開催時の市民応援体制への協力 ③地元選手下宿先の当該自治会の自主的応援協力 <ul style="list-style-type: none"> <li>選手との交流会</li> <li>選手父母との交流会</li> </ul>	能代市の背景として ①バスケットの街として市民の関心や応援体制は高く、深い ②行政、関係機関の施策やPR活動の実践度も高い ③バスケット層の拡大のため、小中学校への技術指導力も高い  提言 ①地元とOBとの交流会開催 ②中央での能代産業展等の開催時にバスケットコーナーを設置しPR ③OBの出身地でのバスケット部への勧誘協力要請 ④市内の公園等のバスケットの周辺自治会による活用強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>レクへの活用</li> <li>バスケット部員参加による盛り上げPR</li> <li>管理、整備への協力</li> </ul>

No.	団体名	1. 現在の取組と連携について	2. 視点	3. 取組の評価について	4. 今後考えられる取組と連携について	5. その他、意見・提言等
31	能代まちづくり合同会社	会社として「バスケットサポーターズのしろ」の活動に参加しております。また、会員として、フリースロー大会への参加、「能代カップ」ではボランティアとしても活動しております。「秋田ノーザンハピネッツ」の試合にも会場整理で協力予定です。	③市民文化	地道な活動ですので、評価出来る段階ではありません。	「バスケットサポーターズのしろ」を通して、「バスケットの街のしろ」をアピールする為に、当社のホームページ、情報ファイル（市内13カ所情報ファイルバイナリー設置）、バスケットサポーターズのしろのホームページの更新をリアルタイムで心掛け、市内外に発信していく予定です。現在は、他団体との連携よりも、広く市民に受け入れられる様なバスケットの試合（40歳バスケット、フリースロー大会等）を模索している所です。	「バスケットサポーターズのしろ」も手弁当の団体ですので、左記大会等を開催するにも大変です。主旨に賛同してくれる市民が多くなるまで、目に見える活動は期待出来ませんが、コツコツと頑張りたいと思っています。
32	能代市山本郡医師会	特になし。	③市民文化	能代市を市民や県内外の来訪者が「バスケットの街」として認めているのかよくわからない。	特になし。	能代市とはどんな街なのか、どんな街にしたいのか、しっかりしたポリシーをもって事に臨んでほしい。
33	NPO法人青年クラブのしろ	行っていない。	—			能代市をバスケットの街と位置付けているが、能代工業高校以外に何も無い。その能代工業の選手も県外出身者ばかりであるため、なかなか盛り上がり欠ける。小学校からバスケットを行う環境を整え、その子たちが能代工業に進み選手として全国大会に行けるようになれば、本当に地域として盛り上がっていくと思う。

※ 団体は、設問2. の回答（3つの視点）順としています。

【調査時期】平成22年12月

【調査対象】バスケットに関係する何らかの取組を行っている団体、今後何らかの取組が考えられる団体

【依頼団体】61団体

【設問内容】

- 貴団体では、バスケットに関係するどのような取組を行っていますか。また、その取組では、他団体との連携はありますか。できるだけ具体的にお答えください。（団体としては特に無くても、団体の構成員が取組を行っている場合は、わかる範囲でお答えください。）
- 3つの視点について、貴団体でもっとも関わりが大きいものはどれだと思えますか。番号1つに○をつけてください。
  - 「競技力向上」の視点
    - 能代工業高校バスケット部を中心としてハイレベルでいられるように。
    - 地元出身選手が活躍できるように。
  - 「地域活力」の視点
    - 「バスケットの街づくり」を交流人口の増加につなげられるように。
    - 「バスケットの街づくり」を地域産業の発展に結びつけられるように。
  - 「市民文化」の視点
    - 市民や来訪者がバスケットに親しみ楽しめるように。
    - 「バスケットの街」として能代らしさがあって市民が誇りに思えるように。
- 貴団体のバスケットに関係する取組について、3つの視点から見て、どのように評価していますか。可能な範囲でお答えください。
- 3つの視点から見て、今後、貴団体ではどのような取組が考えられますか。また、他団体との連携は考えられますか。できるだけ具体的にお答えください。
- その他、ご意見・ご提言等がございましたら、ご自由にお書きください。